



対象器種	FKRE-42400-RS
適合ランプ	東芝蛍光ランプ<ラピッドスタート形> 40ワット (FLR40S/M)
非常用電球	<CCS35> 100V 40ワット (形名 PIL100V 40W S35E17)

このたびは東芝非常用照明器具をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

●素人工事は法律で禁じられております。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

・工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

工事店様へ 施工上のご注意

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災等の原因となります。
- 電源線接続の際は、**5** 器具本体の取り付け③に従って確実に行ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因になります。
- アース工事は電気設備の技術基準に従い確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。
- 器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。器具落下、感電、火災等の原因となります。
- この器具は、断熱施工不可です。断熱施工される場合、**3** 断熱材・防音材の施工法に従って施工してください。施工に不備があると火災の原因になります。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- この器具は屋内専用で、5℃～35℃の範囲で使用するように設計してあります。屋外や湿気、水気のある場所で使用しますと、湿気の侵入による絶縁不良、感電の原因になります。
- 器具に表示された電源電圧（定格電圧±6%以内）以外の電圧でご使用しないでください。間違えて使用しますとランプ、安定器などの短寿命、火災の原因となります。（器具の定格電圧と電源電圧は器具を取り付ける前に必ず確認してください。）

お願い

- 非常用電球は非常時のみ点灯し連続点灯はしないでください。
- 器具には電源周波数が50ヘルツ (Hz) 用と60ヘルツ (Hz) 用の区別があります。地域の周波数にあった器具をご使用ください。まちがえてご使用になりますとランプの寿命が短くなったり、過熱して焼損などのものになります。
- 器具は慎重に調整されています。取り付けの際、衝撃を与えないでください。
- 間引き点灯の場合は、分岐回路をもうけ、そのスイッチで消灯してください。

東芝非常用照明器具点検カード

設置年月日			設置場所			点検責任者
点検年月日	点検箇所 (チェック)	点検者	点検年月日	点検箇所 (チェック)	点検者	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能		
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能		
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能		
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能		
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能		
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能		

お客様へ

使用上のご注意

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- ランプ交換の際、器具のお手入れの際は、電源を切ってから行なってください。感電の原因となります。
- 電源を切って
- ランプや器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすい物を近づけたりしないでください。火災の原因になります。
- 可燃物
- ランプの端部が黒ずんだり、暗くなった時は、早めに交換してください。ランプ交換の際は、適合ランプをご指定ください。間違った種類・ワット(W)数のランプを使用した場合は、過熱により器具が変形・変色したり火災の原因となります。(電源を入れた状態でランプ交換を行なうと、ランプが点灯しない場合があります。)
- 適合ランプ

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 器具を洗剤、薬品で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。器具の破損、落下、感電の原因となります。
- 薬品類
- 器具を清掃する際は、乾いたやわらかい布か、水で湿したやわらかい布をよく絞ってから拭いてください。
- 器具を清掃する際はランプを器具から外して乾いた布で拭いてください。
- ランプ器具清掃
- 金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。傷つけたり腐食の原因となります。
- 金属部分
- この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、環境により異なりますが約10年です。(定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。)

お願い

- 3ヶ月に1回、定期的に非常点検を行ない点検カードにその結果を記入してください。点検カードを切り取って使用してください。定期点検の際は、非常用電球が点灯することを必ず確かめて下さい。
- ランプ以外の部品の交換は絶対におやめください。
- 点灯装置の改造、部品の追加は絶対におやめください。
- 点灯装置の動作不良が生じた場合は、新しい器具と交換してください。
- この器具は高温雰囲気中(140℃以上)で使用されたものは再使用できません。この場合は、新しい器具と交換してください。
- 非常用電球を直流で点灯(DC100V)させる場合は、非常時のみとし、また点検の際も点灯時間は2時間以内にして下さい。平常時にも非常用電球を直流で長時間点灯しますと、ランプ等に異常を生じる危険があります。

各部のなまえ

器具質量
8.0kg

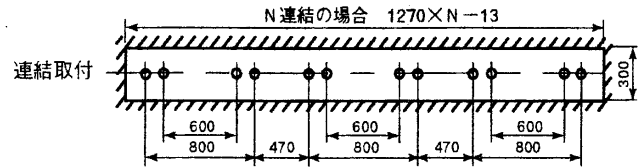
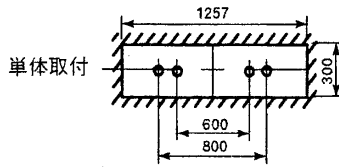
本体
反射板
化粧ねじ
ランプ
非常用電球

■ 器具の取り付けかた

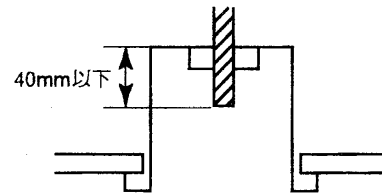
1 器具の埋込穴と取付ボルト位置

(単位mm)

埋込穴をあけ、そのまわりに野縁を組込んでください。

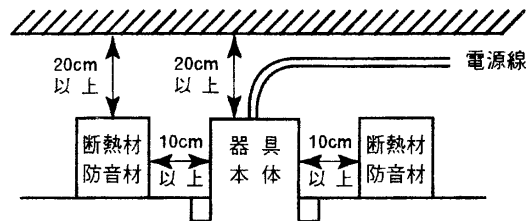


2 器具取付ボルトの埋込寸法



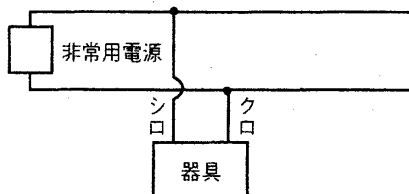
3 断熱材・防音材の施工法

- ・電気配線は断熱材防音材の上側にくるように配線してください。
- ・器具本体に電源線を接触させないでください。



非常用電源の配線方法

- ・非常用電球と別置の予備電源（非常用電源）間の配線は耐熱配線として専用回路にしてください。
- ・配線の途中には、一般の人が容易に開閉できるような点滅器（壁スイッチ）等は設けないでください。



・耐熱配線とは

原則：840℃30分の耐熱試験に耐える耐火措置をした配線をいいます。
 施工場所や使用電源により、耐火措置の方法が異なります。

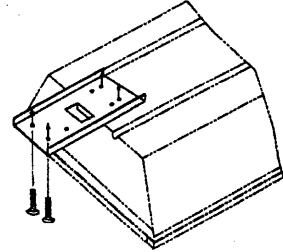
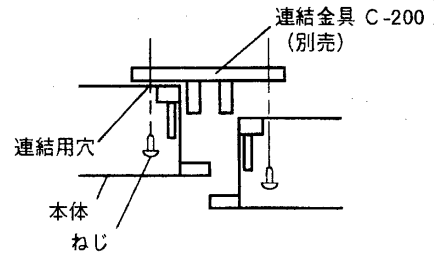
4 器具本体の取り付け

- ① 反射板化粧ネジを外し、反射板を本体から外してください。
- ② 本体を取付ボルトに確実に取り付けてください。
不備がありますと、器具落下の原因となります。

(注) 取付ボルト部のナットを締め過ぎますと、器具が変形する場合がありますので器具本体の縁部が天井面に密着したところで締め付けをおやめください。

連結取付

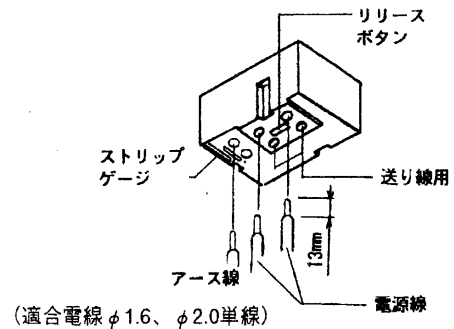
連結金具C-200(別売)をお買い求めいただき、図のように本体の連結用穴を使用して、付属のねじで取り付けてください。



- ③ 電源線、アース線、非常用電源線を確実に差し込んでください。

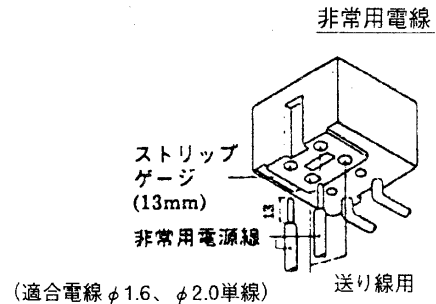
不完全な場合は、接続不良による発熱、火災、感電の原因となります。

- ④ 反射板を化粧ねじで確実に取り付けてください。
- ⑤ ランプの口金ピンを差し込んだ後、90°回転させ、ランプを全数確実に取り付けてください。
- ⑥ 非常用電球を確実に取り付けてください。



5 電源線・送り線の配線上の注意

- ① 送り配線を行う場合、特にφ2単線を使った3線Fケーブルをご使用になる場合には送り線用穴を使用してください。
- ② φ2-3線Fケーブルの場合、電線が固いため反射板が取り付け難い場合があります。
- ③ 電源線、送り線の挿入部の線は、反射板との当りを防ぐため、できる限り小さく曲げ、端子台に押し付けてください。



修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買いあげの販売店(工事店)またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。
なお、ご相談されるときは器具の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

東芝ライテック株式会社

照明電材事業部 〒140 東京都品川区南品川2-2-13 (南品川JNビル) TEL. 03-5463-8768

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

点検のポイント

- ① 外観チェック
光源、反射板などは汚れていませんか。
- ② 非常点灯チェック
非常点灯しますか。

注意事項

- ① 3ヶ月に1度は定期的に点検し、点検カードに記録願います。
- ② 点灯持続時間のチェックを行い、性能が満足しないときは非常用電源を点検、保守願います。
- ③ 万が一うまく動作しない場合、原因がわからない時にはお買い求め先または最寄りの東芝お客様ご相談センターにご連絡ください。